

2015年3月期第2四半期 決算説明会 質疑応答要旨

Q、北米事業は来期には黒字化を目指すとの説明であったが、利益水準が高かった2012年度まで回復するのにどのくらいかかるかを教えてほしい。

A、2012年度の業績水準まで回復するにはもう少し時間がかかるとの認識である。来年の上期では難しいが、1年前後で戻していきたい。北米はもともと生産性の低い工場ではないこと、販売面での問題もないので、生産性の改善と人員削減に伴って急速に回復するとは思っている。

Q、2012年度の売上高と営業利益を教えてほしい。

A、連結ベースで売上1,058億円、営業利益約10億弱である。北米事業の売上高は連結の約2割を占めている。

Q、顧客ごとの売上比率を教えてほしい。

A、グローバルでみると、売上の顧客グループ別内訳は、日産自動車3割、本田技研工業2割、富士重工業1.5割、スズキ5~6%、トヨタ6%、三菱自動車5%前後、GM3%前後、GETRAG3%前後である。フォルクスワーゲンは数字に出てくるレベルにはなっていない。日系自動車メーカーが9割超となる。